

目 次

学術論文

北海道和種馬の春機発動期における精巢発達に関する研究…………… 佐藤 心ほか …… 1

馬事資料

ウラジオストク日露大競馬会, 1909年(1)…………… 立川健治 …… 9

馬事往来

子馬の肢勢および肢蹄の実態調査…………… 田中弘祐ほか …… 13

ロコモーションから見たばんえい競馬…………… 和田直己 …… 29

日本ウマ科学会第35回学術集会 優秀発表賞受賞者紹介…………… 39

学会記事…………… 40

お知らせ…………… 53

協賛団体・賛助会員名簿…………… 54

編集後記

Hippophile No. 92

- 編集委員 -

編集担当常任理事・編集委員長 楠瀬 良 (日本装蹄協会)

編 集 委 員	阿部 憲二 (全国乗馬倶楽部振興協会)	戸崎 晃明 (競走馬理化学研究所)
	荒川由紀子 (農林水産省)	永井富美子 (エディター)
	有吉 正徳 (競馬ライター)	沼田 恭子 (NPO 法人引退馬協会)
	北野あづさ (日本馬術連盟)	古林 英一 (北海学園大学)
	木村李花子 (東京農業大学)	三浦 暁子 (エッセイスト)
	近藤 誠司 (北海道大学)	守谷 久 (ジャーナリスト)
	近藤 高志 (JRA 競走馬総合研究所)	山下 大輔 (日本馬事協会)
	末崎 真澄 (馬の博物館)	山本 真広 (地方競馬全国協会)
	関 正喜 (ジャーナリスト)	

表紙絵：騎手 (The Jockey): アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック (1864-1901) 1899年 49.8×34.1 センチ多色刷り

リトグラフ 馬の博物館蔵

「騎手」は、晩年に近い療養中に一連のサーカスシリーズとともに表した作品である。ロートレックは、少年の頃に父親とともに乗馬をし、競馬場にもしばしば通った経験があり、晩年に再びその情景を思い巡らしている。後ろ姿の騎手は、あるいは馬と競馬を愛した父と自分の姿を映し出しているのかもしれない。

日本ウマ科学会

Japanese Society of Equine Science